

TOPICS

[Vol.41]

神経ブロック療法による椎間板ヘルニアの治療
麻酔科ペインクリニックセンター 福井 聖

ペインクリニックとは痛み・苦痛を緩和する診療室という意味で、様々な痛みの治療を専門とする診療科です。ペインクリニックで扱う痛みの中でも、脊椎疾患では、様々な神経ブロック療法の進歩により、手術することなしに

治ることが多くなっています。その代表として、頸椎・腰椎の椎間板ヘルニ

アのペインクリニックでの治療をご紹介します。

神経ブロック療法とは

痛みの原因となっている神経の部位やその周りに細い特殊な神経ブロック針で局所麻酔薬や抗炎症薬などを注入する治療法です。局所麻酔に使う針は採血に使う一般的な針よりも細くあまり痛くありませんので、その多くが外来で治療が可能です。



腰椎椎間板ヘルニアに対する神経ブロック療法

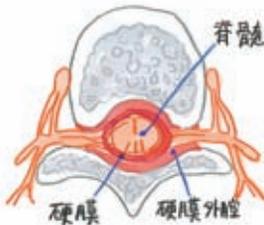
椎間板ヘルニアによる腰痛や坐骨神経痛は、椎間板の中の組織（髄核）が飛び出して、脊髄や神経根（神経の根



元)などを圧迫することが原因です。圧迫による神経の炎症を抑えれば症状が治まる場合が多いので、神経ブロック療法を1~3カ月続けることで、70~80%程度の患者さまは治癒することが多くなっています。

【硬膜外ブロック療法】

・硬膜外腔という脊髄が包まれた袋の外にある隙間に局所麻酔薬を入れ神経で起った痛みを断ち、神経の炎症を治める治療です。



【神経根ブロック療法】

・圧迫されている患部の神経に、X線



画像を見ながら局所麻酔薬と抗炎症剤を注入する治療です。

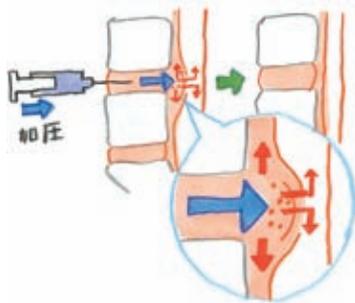
【椎間板造影・ブロック療法】

・障害されている椎間板に、X線画像を見ながら原因部位を診断し、同時に抗炎症薬と局所麻酔薬を注入する治療です。

腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内治療

神経ブロック療法でも治らない場合は、椎間板ヘルニアの原因となる髄核に圧力をかけたり、熱で収縮させることによってヘルニアを移動させることができ、根本的な治療も可能になってきています。このような椎間板内治療により治療期間を大幅に短縮することが可能になりました。ここでは具体的な治療の方法をご説明します。

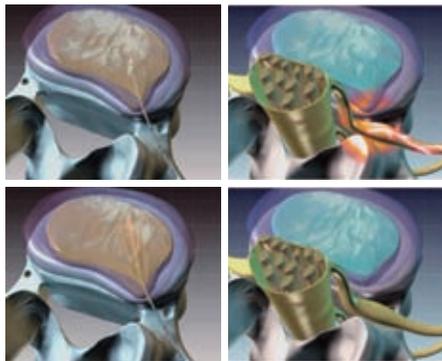
大きなヘルニアで、神経ブロック療法をしても効果がない場合や、痛みが



強い場合や早く痛みを軽減することが必要な場合は、椎間板加圧療法を行います。ヘルニアの原因となる髄核に圧

力を加えることより、ヘルニアを移動させたり、細かくして、圧迫を解除する治療です。

ヘルニアが比較的小さい場合は、椎間板内高周波減圧術を行います。これは特殊な針で椎間板の髄核を取ったり、針の先端に70℃程度の高周波の熱を加え、髄核を熱で収縮させる治療です。この治療法は日本ではまだ保険診療として認められていませんが、欧米で主流になっている治療で、X線画像を見



椎間板内高周波減圧術

ながら治療します。

このほかにレーザーによる治療もありますが、針の先端温度が数百℃になるため、長期的な合併症が多く、本院ではお勧めしていません。

椎間板ヘルニアによる神経の圧迫による痛みは、様々な神経ブロック療法や、椎間板内治療の進歩により、手術することなしに緩和できることが多くなってきました。椎間板内治療まで治

療手段を上げていけば、80～90%程度の患者さまは軽快することが多いです。椎間板ヘルニアでは自然吸収されるタイプもありますので、これらの保存的療法を最初に行うことが大切です。

最近では脊椎外科でも保存的治療の重要性が認識されてきていますが、脊髄が圧迫されて膀胱や直腸が障害された症状がある場合は手術による治療が必要となります。

頸椎椎間板ヘルニアに対する神経ブロック療法

頸椎の椎間板ヘルニアにより神経根が圧迫されて起こる痛みの治療（頸部神経根症）について紹介します。

頸椎を通る神経は後頭部から首、腕、手指、背中（肩甲骨の内側）にまで広がっていますので、首、肩、腕、背中の痛みの原因となるわけです。治療は硬膜外ブロック、星状神経節ブロックなどに加えて、腕神経叢ブロックなどの神経ブロック療法を行います。

【星状神経節ブロック療法】

・首にある交感神経の集まった部位に局所麻酔薬を注入する治療です。



交感神経の緊張を抑えることにより局所の血行がよくなり、痛みの悪循環を断ち切るとともに、抗炎症効果により痛みが軽減します。

【腕神経叢ブロック療法】

・鎖骨の少し上に細い針で局所麻酔した後、首・肩・腕につながる神経の束が集まっている部位の周囲に薬を注入する治療です。神経には直接あてないので痛みも少なく、X線画像を見ながら行います。

これらの治療でも1本の神経の症状がしつこく残る場合は神経根ブロックを行います。

頸椎の椎間板ヘルニアにより神経根が圧迫されて起こる痛みは、神経の炎症を抑えれば症状が治まる場合が多く、

また、腰椎に比べてかかる荷重が少ないので神経ブロック療法を



3カ月程度続けることで、90%程度の患者さまは治癒することが多くなっています。

神経根の圧迫による痛みは、神経ブロック療法の進歩により手術しなくても痛みが緩和することが多くなっていますので、まず神経ブロック療法を行うことをお勧めします。

ただ脊髄が主に圧迫されている場合は、神経ブロック療法の効果が少ないことが多く、手術による治療が必要となります。

よりよい医療を受けるために

日本では神経ブロック療法などの保存的治療の知識が十分に普及していないため、椎間板ヘルニアの痛みに対して手術を受ける確率は、欧米の10倍以

上になっています。様々な治療法があることを知ったうえで、患者さま自身

で自分にあった治療方法を選ぶことをお勧めします。

（窓口）ペインクリニックセンター *必ずご予約のうえご来院ください。

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第14号別冊 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL：077(548)2012(企画調整室)
過去のTOPICS(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します